

感染予防 おしゃれに知恵絞り

対策商品 次々開発

シールドや小倉織柄仕切り

門司の企業

門司区の印刷会社「グランド印刷」が、おしゃれや笑いを交えて楽しめる新型コロナウイルスの感染予防商品を開発している。担当者は「楽しみながら予防して一石二鳥。コロナでも笑顔でいてほしい」と呼び掛けている。



㊦「手持ちシールド」を片手に酒席を楽しむ人たち
㊦小倉織の柄が入ったパーティション

新型コロナ

開発した「手持ちシールドハンディ」は、会食の席などで飛沫感染を防ぐための透明なプラスチック板。円形（直径20センチ）と扇形（半径15センチ）の2タイプがあり、手に取って口元にかざせば近い距離で行うお酌なども可能という。ひげ、唇、ハートマーク、日の丸など10種類のイラストを印

刷しており、開発した同社の白石朋子さん（44）は「みんなクスッと笑って場が和む」と話す。9日から販売予定で、税込み1540円（1セット10枚）。

また、北九州市の伝統工芸品「小倉織」をあしらった段ボール製パーティショ

ンは先月から販売。小倉織メーカー「小倉縞織」（小倉北区）と共同で、パーティションに小倉織の柄を印刷した。百貨店や雑貨店での活用を想定している。サイズは五つあり、税込み8250～1万5400円。そのほか、子ども向けにライオンやキリンなどの動物をかたどった、消毒液のボトルケースなども開発中だ。（壇知里）